

# 富岡製糸場・絹産業遺産群 保護活動応援ファンド 【愛称：群馬の絹遺産】

追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：群馬の絹遺産



第19作成期 2023年7月5日から2024年1月4日まで

第 37 期 決算日  
2023年10月4日

第 38 期 決算日  
2024年1月4日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として日本株式および世界債券へ実質的に投資することにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当作成期の状況

基準価額(作成期末)	12,785円
純資産総額(作成期末)	624百万円
騰落率(当作成期)	+6.4%
分配金合計(当作成期)	60円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年7月5日から2024年1月4日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	12,079円
作成期末	12,785円 (当作成期既払分配金60円(税引前))
騰落率	+6.4% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2023年7月5日から2024年1月4日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として日本株式および世界債券へ分散投資しました。

#### 上昇要因

- 米国の利上げ終了観測の高まりや外国人投資家による日本株買いなどを好感し、日本株式市場が上昇したこと
- 保有する債券から得られるインカム収益

1万口当たりの費用明細(2023年7月5日から2024年1月4日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>92円</b>	<b>0.746%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <b>期中の平均基準価額は12,359円です。</b>
(投信会社)	(45)	(0.362)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(45)	(0.362)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>1</b>	<b>0.007</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b>
(株式)	(1)	(0.007)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b>
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>2</b>	<b>0.014</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>95</b>	<b>0.768</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

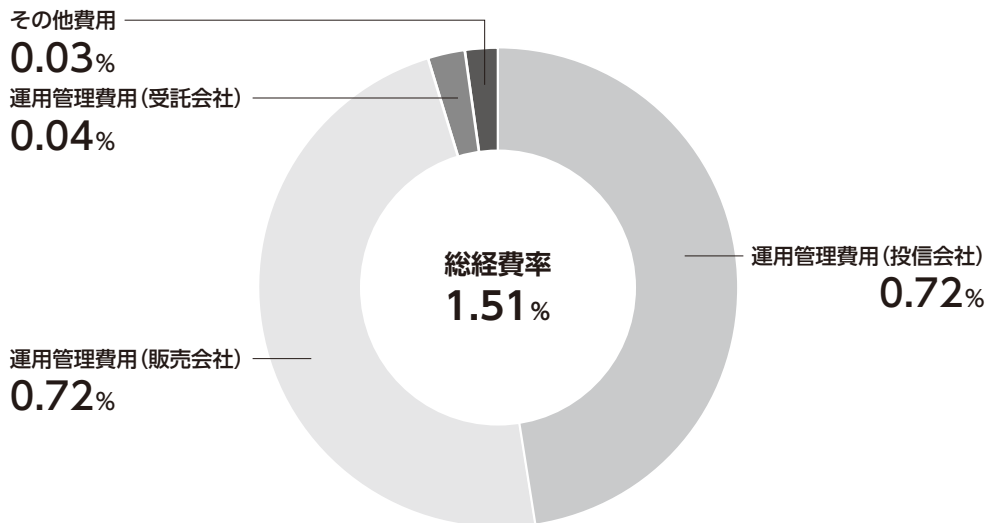
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

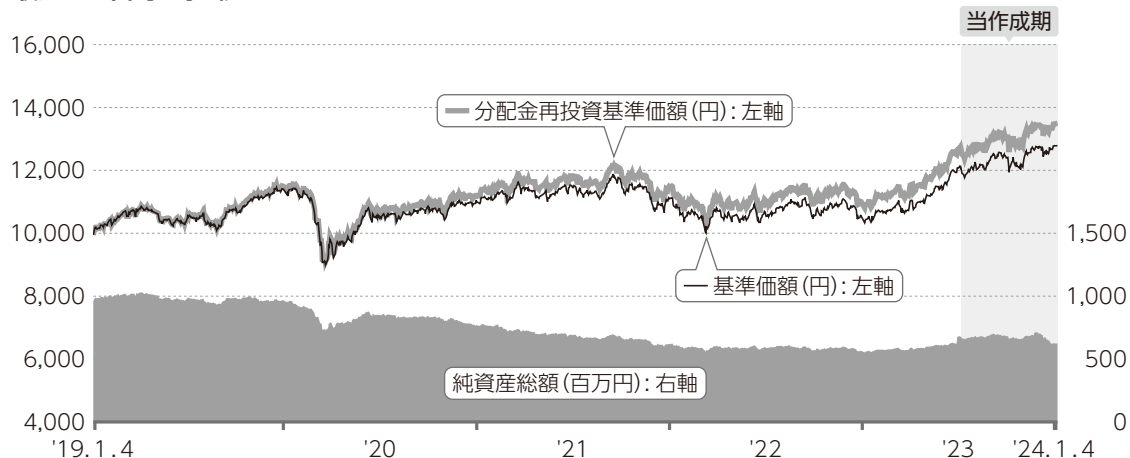
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.51%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年1月4日から2024年1月4日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2019年1月4日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2019.1.4 決算日	2020.1.6 決算日	2021.1.4 決算日	2022.1.4 決算日	2023.1.4 決算日	2024.1.4 決算日
基準価額	(円)	9,945	11,228	10,951	11,127	10,334	12,785
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	14.2	-1.3	2.7	-6.1	25.0
純資産総額	(百万円)	961	949	762	621	553	624

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について（2023年7月5日から2024年1月4日まで）

日本株式市場は、上昇しました。先進国ソブリン債券市場と新興国ソブリン債券市場はそれぞれまちまちの動きとなりました。為替市場は、米ドル・円が概ね横ばいとなりました。

### 日本株式市場

期の前半に、中国経済の減速懸念や欧米の金融引き締めに対する警戒感が株価の上値を抑える場面がありました。しかし、日銀による長短金利操作の運用柔軟化の決定が順調に消化されると、米ドル高・円安の流れが一段進みました。TOPIX（東証株価指数）は好業績銘柄に牽引されて、バブル後の高値を更新しました。

期の後半は、一進一退の展開となりました。FOMC（米連邦公開市場委員会）を契機に金融引き締めが長期化するとの見方から長期金利（10年国債利回り）が上昇したことや、中東での地政学リスク台頭により原油価格急騰に対する警戒感が高まったことなどを背景に、国内も軟調に推移しました。その後、植田日銀総裁の発言などを受け急激に円高が進行する場面もありましたが、米追加利上げ観測が大きく後退したため世界的な株高となり、国内も底堅く推移しました。

### 先進国ソブリン債券市場

先進国ソブリン債券市場はまちまちとなりました。

先進国での利上げサイクルの進展や中央銀行によるインフレ抑制姿勢の維持などを背景に、金利はもみ合う場面が見られつても上昇しました。

期末にかけては、労働市場やインフレの軟化を示唆する経済指標が見られたことから、利上げ終了観測が意識され、金利は低下する展開となりましたが、期を通じて見ると全体的にはまちまちとなりました。

### 新興国ソブリン債券市場

新興国のソブリン債券市場はまちまちとなりました。

主要中央銀行による利上げサイクルが進展する中、新興国においてもグローバルな金利上昇に追随する動きが見られました。

しかし、期末にかけては先進国で金利が低下に転ずる中、新興国でもインフレのピークアウトや利下げの前倒しが意識され、金利は

低下する展開となりましたが、期を通じて見ると全体的にはまちまちとなりました。

---

## 為替市場

為替市場では、主要中央銀行の利上げが進展する一方、日本銀行による緩和的な政

策が維持されたことで金融政策の方向性の違いが意識され、円安が進行しました。しかし、期末にかけては主要国での利上げ終了観測が意識されたことや金利の低下を受けて円高に転じたため、期を通じて米ドル・円が概ね横ばいとなりました。

---

## ポートフォリオについて(2023年7月5日から2024年1月4日まで)

---

## 当ファンド

運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、日本株式と世界債券へ分散投資しました。日本株式と世界債券の投資配分は、それぞれ概ね50%程度としました。

期間を通じて、基本資産配分からの乖離幅が一定の範囲内に収まったため、リバランス(投資配分比率の調整)を実施しませんでした。

---

## 群馬関連日本株マザーファンド

### ●株式組入比率

株式組入比率は高位を保ちました。

### ●個別銘柄

本業収益の増加、充実した還元政策などにより中長期的なROE(自己資本利益率)向上が期待される群馬銀行、積極的な製品開発で国土強靱化に貢献するコンクリート

製品の成長が予想されるベルテクスコーポレーション、半導体市場における中長期成長が予想されるアドバンテスト、信越化学工業を上位に組み入れています。

### ●ポートフォリオの特性

群馬県経済の発展に貢献する銘柄に、投資しました。事業環境が変わるなか競争優位性を確保し、かつそれらを発展させながら企業価値を増大させる企業を積極的に組み入れました。

---

## 先進国ソブリン債券マザーファンド

通貨アロケーションについては、アメリカ地域では米ドル、欧州・アフリカ地域では英ポンド、アジア・オセアニア地域ではオーストラリアドルを組入通貨としたポジションとしました。

債券の種別構成については、国債と国際機関債中心の構成としました。



## 新興国ソブリン債券マザーファンド

通貨アロケーションについては、アメリカ地域ではメキシコペソ、欧州・アフリカ地域では南アフリカランド、アジア・オセアニ

ア地域ではインドルピーを組入通貨としたポジションとしました。

債券の種別構成については国際機関債を中心とした構成としました。

### ベンチマークとの差異について(2023年7月5日から2024年1月4日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について(2023年7月5日から2024年1月4日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第37期	第38期
当期分配金	30	30
(対基準価額比率)	(0.25%)	(0.23%)
当期の収益	30	30
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	3,089	3,315

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として日本株式と世界債券へ分散投資することにより、利息・配当収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。日本株式と世界債券の投資配分は、それぞれ概ね50%を基本資産配分とします。

### 群馬関連日本株マザーファンド

日本の景気は足踏みしつつありますが、米国や欧州での利下げや中国での財政出動による景気下支えが期待されることから、世界の景気は全体として底堅さを維持し、緩やかに持ち直す動きが続くと想定します。こうした環境の下、株式市場は、徐々に水準を切り上げる展開を想定します。日本については、デフレからの脱却、コーポレート・ガバナンス(企業統治)改革進展などへの期待が支援材料となる中、企業のEPS(一株当たり純利益)成長による業績相場へ移行すると予想します。一方、中国景気の先行き不透明感が残ること、中東・ウクライナ情勢などが株式市場の重石になると想定します。

引き続き運用方針に従い、群馬関連企業(群馬県内に本社(本社に準ずるものも含む)

を置いている企業、雇用創出など群馬県内で積極的に事業活動を行っている企業、群馬県で創業した企業等に投資して、運用を行って参ります。ボトムアップによる個別企業の調査情報を重視し、業績動向や市場環境を勘案し、パフォーマンスの向上を目指します。

### 先進国ソブリン債券マザーファンド

先進国では、累積した利上げの効果によるインフレ鈍化と景気減速が徐々に浸透し、金利は緩やかに低下する展開を予想します。

先進国ソブリン債券マザーファンドでは、アメリカ地域では米ドル、欧州・アフリカ地域では英ポンド、アジア・オセアニア地域ではオーストラリアドルの組み入れを継続する方針です。

通貨の組入比率については、概ね均等配分を基本とする方針ですが、相場見通しによっては機動的に比率の見直しを行っていきます。

### 新興国ソブリン債券マザーファンド

新興国では、インフレ率の上昇に頭打ち感が見られる国が多く、主要国に先行して利下げを開始する国が見られています。また、相対的に高い金利水準が新興国への投

資を促し、新興国の債券相場や為替相場を下支えしていくものと考えています。

新興国ソブリン債券マザーファンドでは、メキシコペソ、南アフリカランド、インドルピーの3通貨を当面維持し、高水準のイ

ンカムゲインの確保を目指す方針です。

また、通貨の組入比率については、金利水準や為替相場の方向性を総合的に判断し、投資環境に応じて機動的な比率の見直しを行っていく方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

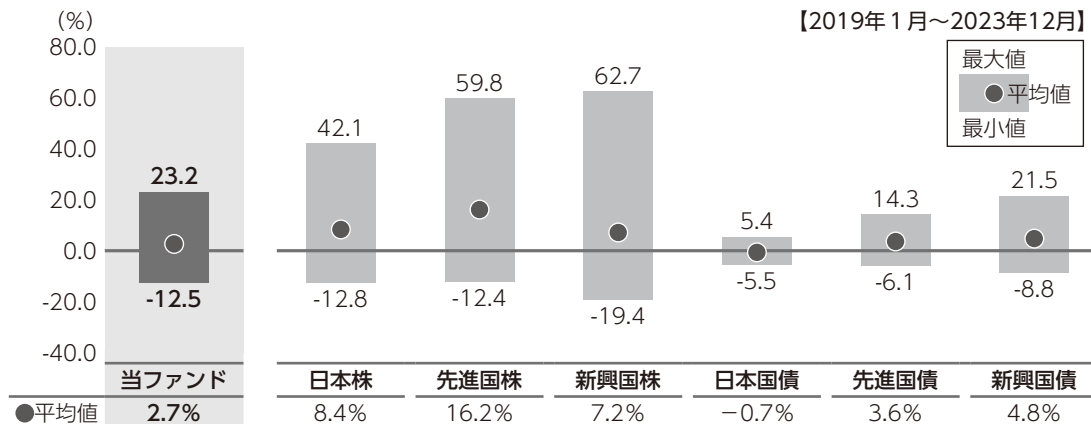
### 寄付金について

- 当ファンドの販売会社および委託会社は、收受した運用管理費用(信託報酬)の一部(それぞれ運用管理費用(信託報酬)率のうち年率0.1%程度)を『富岡製糸場と絹産業遺産群』保護のために寄付をします。
- 2023年7月の決算期末を基準として行った寄付先および寄付金額は以下の通りです。  
寄付先 : 世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金(群馬県)  
寄付金額 : 1,179,108円(販売会社と委託会社の寄付金額の合計)

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限(設定日：2014年7月14日)
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として日本株式および世界債券へ実質的に投資することにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。 当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。
主要投資対象	<p><b>群馬関連日本株マザーファンド</b> わが国の株式</p> <p><b>先進国ソブリン債券マザーファンド</b> 世界の先進国のソブリン債券</p> <p><b>新興国ソブリン債券マザーファンド</b> 世界の新興国のソブリン債券</p>
当ファンドの運用方法	<p>■マザーファンドへの投資を通じて、主として日本株式と世界債券へ分散投資することにより、利息・配当収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。</p> <p>■実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>当ファンド</p> <p>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p>
組入制限	<p><b>群馬関連日本株マザーファンド</b></p> <p>■株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への投資は行いません。</p> <p><b>先進国ソブリン債券マザーファンド</b></p> <p>■株式への投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p><b>新興国ソブリン債券マザーファンド</b></p> <p>■株式への投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
分配方針	<p>■年4回(原則として毎年1月、4月、7月、10月の4日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	<b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

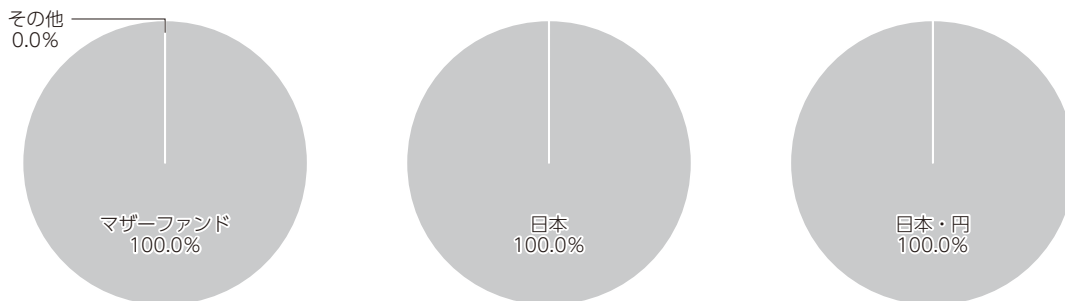
### 当ファンドの組入資産の内容(2024年1月4日)

#### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
群馬関連日本株マザーファンド	58.5%
新興国ソブリン債券マザーファンド	20.9%
先進国ソブリン債券マザーファンド	20.5%
コールローン等、その他	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第37期末	第38期末
		2023年10月4日	2024年1月4日
純資産総額	(円)	657,026,997	624,520,428
受益権総口数	(口)	550,057,527	488,494,543
1万口当たり基準価額	(円)	11,945	12,785

※当作成期における、追加設定元本額は31,717,880円、解約元本額は103,534,222円です。

## 組入上位ファンドの概要

### 群馬関連日本株マザーファンド(2023年7月5日から2024年1月4日まで)

#### 基準価額の推移



#### 1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式)	3	(3)
その他費用	(その他)	0	(0)
合計		3	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

#### 組入上位銘柄

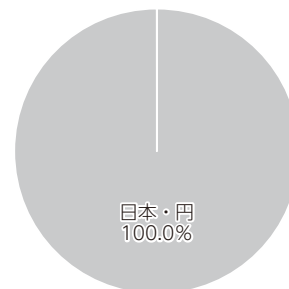
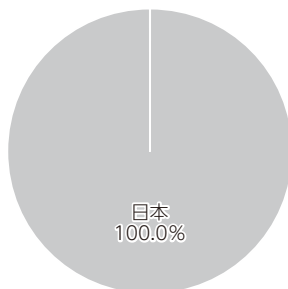
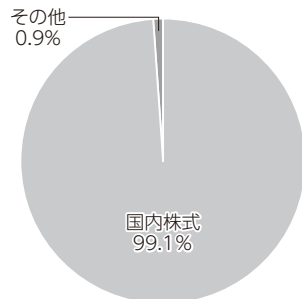
(基準日：2024年1月4日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	群馬銀行	銀行業	5.8%
2	富士電機	電気機器	5.5%
3	信越化学工業	化学	5.5%
4	ベルテクスコーポレーション	ガラス・土石製品	5.4%
5	富士通	電気機器	4.7%
6	アドバンテクト	電気機器	3.3%
7	リケンテクノス	化学	3.3%
8	森永製菓	食料品	3.0%
9	三和ホールディングス	金属製品	2.9%
10	良品計画	小売業	2.8%
	全銘柄数	53銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)

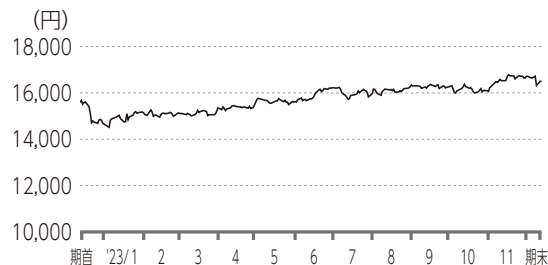


※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2024年1月4日現在です。

## 先進国ソブリン債券マザーファンド(2022年12月13日から2023年12月12日まで)

### 基準価額の推移



### 組入上位銘柄

(基準日：2023年12月12日)

	銘柄名	組入比率
1	UK GILT 1.5 07/22/26	15.7%
2	AUSTRALIAN GOVERNMENT 3.75 04/21/37	14.5%
3	UK GILT 0.875 10/22/29	10.9%
4	INTER-AMERICAN DEVEL BK 2.25 06/18/29	9.2%
5	EUROPEAN INVESTMENT BANK 2.375 05/24/27	8.6%
6	INT BK RECON & DEVELOP 0.5 05/18/26	8.6%
7	INTL FINANCE CORP 3.15 06/26/29	7.5%
8	INTL FINANCE CORP 2.125 04/07/26	5.8%
9	UK GILT 1.5 07/22/47	5.1%
10	INTER-AMERICAN DEVEL BK 2.125 01/15/25	5.0%
	全銘柄数	11銘柄

### 1万口当たりの費用明細

(単位：円)

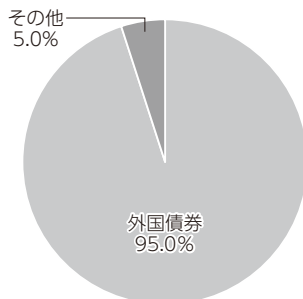
項目	(内訳)	金額	(内訳)
その他費用	(保管費用) (その他)	8	(7) (1)
合計		8	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

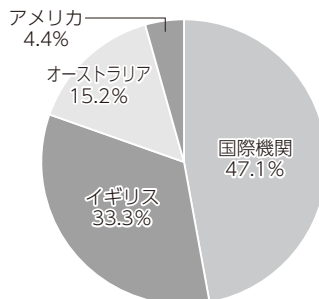
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

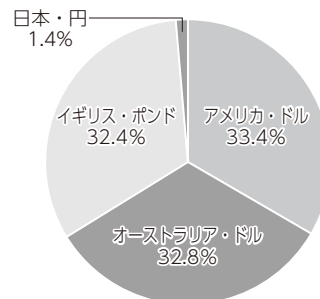
### 資産別配分(純資産総額比)



### 国別配分(ポートフォリオ比)



### 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2023年12月12日現在です。



## 新興国ソブリン債券マザーファンド(2022年12月13日から2023年12月12日まで)

### 基準価額の推移



### 組入上位銘柄

(基準日：2023年12月12日)

	銘柄名	組入比率
1	EUROPEAN INVESTMENT BANK 8 05/05/27	32.3%
2	INTL FINANCE CORP 7 07/20/27	31.8%
3	INTL FINANCE CORP 6.3 11/25/24	30.1%
全銘柄数		3銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

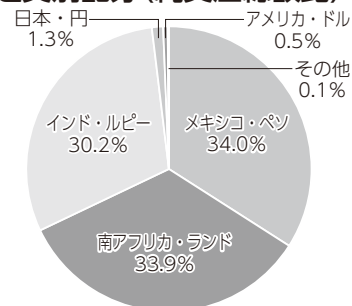
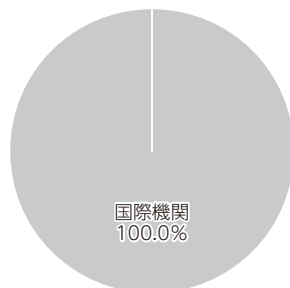
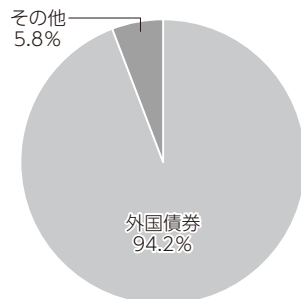
### 1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
その他費用	(保管費用)	3	(2)
	(その他)		(1)
合計		3	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2023年12月12日現在です。